

役員活動報告

令和元年十月十五日(水)
ホテルグランテラス富山に於いて、奉斎神宮大麻曆頒布始奉告祭が斎行されました。

各宮司及び各神社の役員八十六名が出席し、厳かに雅楽の演奏の中、修祓・斎主一拝・献饌・祝詞奏上、神楽「朝日舞」が奉奏さ、玉串拝礼・撒饌、斎主一拝、神宮大麻曆の授受の後、平尾県神社庁富山支部支部長の挨拶、高木富山市神社総代会会長の挨拶、来賓として富山県神社庁松本庁長より祝辞が有りました。



奉納 神楽「朝日舞」



富山県神社庁富山支部長の挨拶

欲しいと話がありました。

天皇陛下御即位奉祝 富山県民大会

12000人観覧



天皇陛下御即位奉祝富山県民大会が令和元年十一月十八日(月)、午後一時からオーバ

ード・ホールで行われ、出席した約12000人が令和時代の到来を祝いました。

坂神社から山内禰宜ら4人出席しました。

最初に民謡「こきりこ」が越中五箇山築子唄保存会で奉祝演奏されました。天皇陛下が学習院高等科地理研究会の学友たちと、五箇山平村に御來村になり、その際お泊りになった相倉集落の民宿での夕食時、こきりこ踊りと、哀愁をおびたこきりこの唄に強く感銘を受けられ、後に平成三年宮中「歌会始の儀」に「森」の御製で、山深い合掌集落の夕暮れ時の美しい情景の中、唄い舞われた「こきりこ」を詩情豊に詠み表されたのです。地元の人々はこれに感銘し、集落の神社に歌碑を建立し、地域住民の誇りとして、子孫に語り伝えていけるのです。今上陛下御製「五箇山をおとづれし日の 夕餉時 森に響かふ こきりこの唄」とても感銘されたお気持ちを感じられます。

国歌斉唱の後、高木繁雄実行委員会会長の挨拶、石井隆一富山県知事の祝辞が有りました。

最後に万歳三唱で閉式となりました。

新嘗祭 神宮大麻 鵜坂神社神符頒布始祭

神棚に祀る御神札

良く晴れた日になりました。モミジの紅葉が見事に栄えています。出席した各地区自治会会長と奉賛会会員が大祓いの詞を奏上しました。「高天の原に神留まり坐す 皇親神漏岐 神漏美の命以ちて……」読み上げていく奏上紙には、仮名が振ってありますが、続けて



大祓詞を読む皆さん

思う様には読めません。儀式が終わり浦安の舞と鵜坂鶴飼太鼓が奉納されました。浦安の舞の歌詞は、「天地の神にぞ祈る朝なぎの 海のごとくに波たたぬ世を」と昭和天皇の御歌です。浦安とは心安らかという意味で、平和を祈る心の舞です。



モミジが栄える鎮守の杜



奉納 浦安の舞

古くは平和で美しい風土を持つ日本の国を浦安の国と言いました。各地区の会長に、天照皇大神宮と氏神様である鵜坂神社の御神札が渡されました。正月に神棚の御神札を新しく取替えて下さい。